

自己評価結果公表シート(令和7年度)

学校法人 服部天神宮学園 服部幼稚園

1 本園の教育目標

「感謝の心とやる気を育てる」ことを教育の目標として、次の幼児像「敬神感謝の心を持ったあたたかい子ども・意欲を持って学習や遊びに参加する子ども・友だちと仲良くしてよい習慣を身につけていく子ども・まわりのことがらに関心をもち表現を豊かにする子ども」を掲げ、のびのびとした保育に取り組む。

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・昨年度より幼稚園型認定こども園に移行し、2号認定児及び新2号認定児が増加する中で、保護者のニーズにも対応し、更に教職員の連携を強化して、子どもが安心して過ごすことのできる環境構成を充実させる。
- ・子どもが主体的に活動できるように、各学年で年間のカリキュラムを見直し、保育内容や環境構成を構築させる。
- ・年々気温が上昇する中、行事を実施するにあたっては、熱中症対策を徹底し、綿密に計画を立てて行う。

3 評価項目と取組状況

評価項目	取り組み状況
預かり保育の充実	2号認定児と新2号認定児の利用は、年々増加しており、多様な保育ニーズに対応できるように保育内容や環境の充実に努めた。個々の発達を理解して、安心して過ごせる保育環境を整えることができた。また、長時間保育では、複数の職員が関わるため、職員間で情報共有を密に行い、連携を強化しながら取り組むことができた。
保育内容の充実	子どもが主体的に活動できるよう、各学年で年間指導計画を見直し、発達段階や子どもの実態に応じた保育内容の充実と環境構成の工夫に努めた。また、子どもが意欲的に取り組める保育の充実を図った。
気候変動に配慮した行事の実施	年々気温が上昇し、熱中症リスクを踏まえ、七夕祭りや、お泊り保育、運動会などの行事について、安全を最優先して計画や実施に努めた。活動内容や時間の見直し、熱中症対策を徹底し、園児一人ひとりの体調変化に配慮しながら対応をした。また、職員間で情報を共有し、役割分担を行い、行事を実施することができた。
子育て支援の取り組み	今年度は園庭開放の実施を強化し、地域の未就園児親子が安心して遊べる場の提供に努めた。親子で園の環境や遊びに触れる機会をつくるとともに、子育てに関する相談や情報交換を通して保護者とのつながりを深めることができた。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

預かり保育の充実や保育内容の充実に努め、保護者の多様なニーズに応じた保育の提供を行うことができた。また、子ども一人ひとりの発達や意欲的に取り組むことのできる活動を取り入れて、保育の充実を図ることができた。気候変動に配慮した行事の実施については、活動や行事の内容、実施方法を柔軟に見直し、安全を最優先して実施した。屋内外の活動や行事を工夫することで、子どもたちの学びや体験の機会を確保することができた。今後も保護者や地域のニーズを把握しながら、預かり保育や保育内容の更なる充実を図るとともに、気候変動に対応した安全で、質の高い教育・保育の実践に継続して取り組んでいきたい。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
情報発信のリニューアル	園の教育方針や日々の取り組みや、行事の様子などがより分かりやすく伝わるように、発信内容や方法を見直し、様々な媒体を活用しながら、園の魅力や子どもたちの成長の様子を発信できるようにリニューアルに取り組む。
気候変動による保育内容の見直し	近年の気候変動や猛暑などの影響を踏まえ、子どもたちの安全と健康を第一に考え、季節ごとの保育内容や活動方法を見直し、保育環境の充実に努める。
小学校との連携と地域への開放	小学校との連携を大切にし、就学に向けて子どもたちが安心して次の段階へ進めるように交流や情報共有などを通して円滑な接続を図る。また、地域に園を開き、地域とのつながりを大切にしながら、子育て支援の取り組みの充実に努める。

6 学校関係者評価

預かり保育の充実や、教育理念に基づいて大切に受け継がれている伝統行事などを通して、園が重視している教育内容が充実していることがよく理解できる。また、日々の保育や教育活動において、教職員一人ひとりが子どもたちの成長を第一に考え、より良い保育、教育を目指して努力している姿勢も評価できる。さらに、教職員が日々の実践を振り返りながら、個々の資質向上に努めていることも感じられ、園全体として教育の質の向上に継続的に取り組んでいることが評価される。

7 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。